

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【公開番号】特開2010-250306(P2010-250306A)

【公開日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-044

【出願番号】特願2010-69384(P2010-69384)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 2 F 1/137 (2006.01)

G 0 2 F 1/141 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/13 1 0 1

G 0 2 F 1/137 5 0 0

G 0 2 F 1/141

G 0 2 F 1/1333

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月6日(2013.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の基板と、

第 2 の基板と、

前記第 1 の基板と前記第 2 の基板との間の液晶層と、を有し、

前記第 1 の基板と前記第 2 の基板は、シール材によって固着されており、

前記液晶層は、光硬化樹脂と、ブルー相を示す液晶材料とを有し、

前記液晶層は、第 1 の領域と、第 2 の領域とを有し、

前記第 1 の領域は、前記第 2 の領域より前記光硬化樹脂の重合度が高いことを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】

第 1 の基板と、

第 2 の基板と、

前記第 1 の基板と前記第 2 の基板との間の液晶層と、を有し、

前記第 1 の基板と前記第 2 の基板は、シール材によって固着されており、

前記液晶層は、光硬化樹脂と、ブルー相を示す液晶材料とを有し、

前記液晶層は、第 1 の領域と、第 2 の領域とを有し、

前記第 2 の領域は、前記シール材に接する領域を有し、

前記第 1 の領域は、前記第 2 の領域より前記光硬化樹脂の重合度が高いことを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、

前記液晶表示装置は、画素領域と駆動回路領域とを有し、

前記画素領域は前記第 1 の領域に位置し、

前記駆動回路領域は前記第２の領域に位置することを特徴とする液晶表示装置。

【請求項４】

第１の基板と、

第２の基板と、

前記第１の基板と前記第２の基板との間の液晶層と、を有し、

前記第１の基板と前記第２の基板は、シール材によって固着されており、

前記液晶層は、光硬化樹脂と、ブルー相を示す液晶材料と、を有する液晶表示装置の作製方法であって、

前記液晶層に選択的に光照射処理を行って、前記光が照射された第１の領域と、前記光が照射されていない第２の領域と、を形成し、

前記第１の領域は、前記第２の領域より前記光硬化樹脂の重合度が高く、

前記光照射処理は前記液晶層に対して一定の方向に光を相対的に走査しながら行うことを特徴とする液晶表示装置の作製方法。

【請求項５】

請求項４において、

前記液晶層を加熱しながら前記光照射処理を行うことを特徴とする液晶表示装置の作製方法。

【請求項６】

請求項４又は請求項５において、

前記第２の領域は、前記第１の領域の周囲の領域に位置し、かつ、前記シール材と接する領域を有し、

前記第２の領域をマスクで覆った状態で前記光照射処理を行うことを特徴とする液晶表示装置の作製方法。

【請求項７】

請求項４乃至６のいずれか一項において、

前記光照射処理は前記液晶層表面に対して斜めに光を照射することにより行うことを特徴とする液晶表示装置の作製方法。

【請求項８】

請求項４乃至６のいずれか一項において、

前記光照射処理は、異なるエネルギーを与える複数の光を用い、前記複数の光のうち前記液晶層に与えるエネルギーが小さい光から先に前記液晶層に照射することを特徴とする液晶表示装置の作製方法。